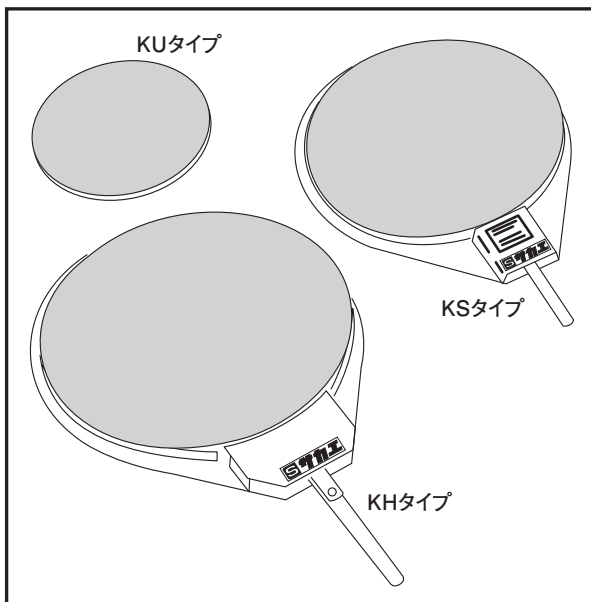


クルクル回転盤 スチール製 [KU, KS, KH]

取扱説明書

この度はサカエ製品をお買い上げくださいますことありがとうございます。
この説明書は、この製品の使い方（使用上の注意事項）について記載しています。ご使用前に、この説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
また、この製品を末長くご利用いただくために、この説明書は大切に保存してください。
尚、弊社では安全な製品作りを常に心がけておりますが、ご不明な点がございましたら、下記のお客さま相談室までご連絡ください。



S サカエ

大阪市城東区成育5丁目22-9

お客様相談室  0120-575101

No.127 22L-1

この製品を安全に、また末長くご利用いただくために、次の事項を必ず守って下さい。

△ 安全上のご注意

1. 製品の上に乗ったりしないで下さい。転倒や事故等の原因になります。
2. 製品の分解・改造や部品をはずしたり、はずれたままで使用しないで下さい。
3. 可動部の隙間に指を入れますと、指をはさむ恐れがありますので絶対に入れないで下さい。
4. 本体に乗せている品物を回転するときは、手を携えてゆっくり回して下さい。勢いよく回しますと、品物の飛び出し、転倒等、事故の原因となります。
5. ストッパーは、作業中の振動等による微妙なズレを防止するものです。回転中にこのストッパーにて絶対にロックさせないで下さい。破損及び、飛び出し、転倒等、事故の原因となります。
任意の位置に品物を方向転換し、完全に止まってからストッパーをロックさせて下さい。 【ストッパー付】
6. 使用に際しては本体を必ず水平に保って作業して下さい。
7. 回転盤の天板よりはみ出す物は乗せないで下さい。事故等の原因となります。また、品物を置く際には必ず偏荷重にならないようにして下さい。
8. ゴムマット表面が色落ち、白く変色する場合があります。（ブルーミング現象）これは劣化防止のために老化防止剤等を配合しており、マット表面に配合剤が移行している現象で使用上は問題ありません。
9. 天板の等分布耐荷重（天板全面に均等に物を置いた場合）は、

300φ	100kg
400φ	200kg
500φ	300kg

積載荷重は、天板の耐荷重の範囲内にして下さい。それ以上載せたり、荷重が片寄りますと製品破損の恐れがあります。
10. この製品を第三者に貸すときは、取扱方法を充分に説明して下さい。

◆使用上のご注意

1. スチール天板上で、溶接作業をされる場合、直接高熱の加わる作業を続けると、回転機能が悪くなるばかりでなく、機能損傷の恐れがあります。
2. この製品は、室内または屋内用です。屋外や水のかかる場所では、故障や表面材の損傷の原因となりますので使用しないで下さい。
3. 直射日光の当たるところや温度・湿度の著しいところでの使用は避けて下さい。変色や変形の原因となります。
4. 製品の上にハンダゴテ等、高温になった機具類、熱い湯のみや加熱したナベ・ヤカンなどを直接置かないで下さい。変色や変形の原因となります。
5. 製品を水に濡れたままにしておきますと表面材の損傷の原因となりますので、必ず乾いたやわらかい布で拭き取って下さい。
6. 特別なご使用をされる場合は、購入店へご相談下さい。
7. 製品に不具合が生じたときは、購入店へご相談下さい。

◆サカエ製品全般のお手入れのしかた

通常は乾いたやわらかい布でから拭きして下さい。

汚れが著しい場合は、次の1～3の手順を守って汚れを落として下さい。

1. 薄めた中性洗剤につけた布を、かたく絞って拭いて下さい。
2. 水につけた布をよく絞って、中性洗剤が残らないように拭いて下さい。
3. 乾いたやわらかい布で、水分が残らないように拭き取って下さい。

※汚れが落ちない場合は、1～3の作業を繰り返して行って下さい。

※シンナー系の溶剤、アルカリ性の洗剤等は使用しないで下さい。

ブレーキ調整方法

ハンドブレーキタイプ（KS, KSM）はブレーキの強さを調整することができます。
出荷時に調整はされておりますが、
使用を続けゴムが摩耗して効きが弱くなった場合や
積載物の重さによってブレーキの利きが弱いと感じた場合は調整を行って下さい。

必要工具

スパナ 8mm（市販品）

※別にマイナスドライバー、ハンマー等を用意すると作業が容易になります。

注意：ブレーキ可動部にはグリスが塗っている上

指を挟む恐れがありますので手を入れずに必ずスパナを使用してください。

調整方法

- ①カバーを外すためにレバーを図の様に動かします。
- ②カバーを手前にスライドさせ外します。
（抜けにくい場合は回転盤とカバーの間にマイナスドライバー等を入れ、ハンマーで軽くたたくと簡単に抜けます）
- ③スパナでナットを少しだけ緩めます。（半時計回り）
- ④ボルトを調整してブレーキの出る寸法を変更します。
時計回りに回すと・・・ブレーキの利きが【弱く】なります。
反時計回りに回すと・・・ブレーキの利きが【強く】なります。
- ⑤調整が終わりましたら、レバーを①で動かした位置に戻します。
- ⑥カバーをスライドさせ入れてください。
（カバーを外したまま使用しないでください。指をはさみケガをする恐れがあります。）

